

住宅リフォーム助成制度

津布久 博人（日本共産党）

質問 県内でも実施している自治体があるが、桐生市で実施する考えは。

答弁 今後いろいろな施策を考える中で、検討項目になりうると考えている。

質問 制度を実施した場合の経済波及効果は。

答弁 岩手県宮古市を参考に試算すると、事業に必要な予算額は約七億七千万円。経済波及効果は、その四倍ほどになると認識しているが、桐生市では、住宅



桐生織塾の現況

小野田 淳二（愛・桐生）

質問 織塾への支援は。

答弁 平成二年に創作工（桐生織塾）

リフォームに対するさまざまな助成制度や、市内企業に対する経済波及効果を踏まえた公共事業の発注を実施している。

（市役所）



危機管理体制の確立

福島 賢一（桐新クラブ）

質問 防災体制の確立には、個人、地域、行政それぞれの役割を踏まえた自助、公助の精神が必要不可欠だが、市民への周知は。

答弁 国・県・大学と連携した研究会による講演会や地区懇談会、地区防災訓練などを通じ、市民の防災意識の醸成に努めている。

質問 専門職員育成のため「人と防災未来センター」へ職員を派遣する考えは。

答弁 選択肢の一つとして今後検討したい。

（災害救助訓練）



資源ごみ回収の拡大

小滝 芳江（クラブ21）

質問 桐生市の資源ごみリサイクル率は。

（リサイクルセンター）

答弁 平成二十年度実績では十一・六パーセントであり、県平均十五・一パーセント、全国平均十八・九パーセントを下回る状況だ。

質問 雑紙の分別回収を拡大すべきと考えるが。

答弁 境野・菱地区のモデル収集実績は年間約二十二トン。これを全市に拡大すると年間約三百十三トンの収集量が見込まれ、燃えるごみの減量と資源化が図られることになる。今後、廃棄物減量等推進審議会の意見を伺いながら全市への拡大に取り組んでいきたい。



観光資源の利活用

福田 光雄（新政会）

質問 桐生の長い歴史と文化から生まれた豊富な観光資源の利活用について、現況と今後の方向性は。

答弁 交流人口の増加による地域の活性化に向け、本町一・二丁目の歴史的伝統的建造物群や指定文化財、八木節、からくり人形芝居や豊かな自然などを素材とする「桐生観光」を新たな産業に位置づけ、各種報道機関への情報提供に努めている。知名度の低いことが

本市の課題であり、今後とも群馬DCや観光キャラバンなどを通じてさらなる宣伝活動を行い、観光客数の増加を図っていきたい。

（からくり人形）



文化振興のための条例制定

周東 照二（公明クラブ）

質問 市民文化会館事業や大川美術館、新能、野球資料館など諸事業の位置づけを明確にし、市民協働で文化の香り高い桐生の実現をめざす条例の制定が必要と考えるが、市長の見解は。

答弁 現在、市制九十周年事業の一環として郷土資料展示施設等検討委員会を設置し、芸術文化、スポーツ文化、歴史文化、産業文化の四部会で郷土資料の展示方法や施設などの検討を

房第一号として認定されて以来、工房推進協議会を通じて、土地建物の借り上げや光熱水費など諸経費の面で支援している。

質問 織塾の日常的な活動内容と反響は。

答弁 塾生による創作活動が中心だが、織物資料の収集や企画展なども行っている。報道への取材協力やネット情報の発信にも積極的であり、国内外の織物研究者や芸術家、創作体験を望む観光客なども訪れ、織塾が育てた技術や知識、人脈が注目を集めている。



（市民文化会館）

進めている。平成二十三年度末を目前に制定される県条例との整合性や桐生らしい独自性を踏まえ、引き続き前向きに検討したい。

教育

井田 泰彦(クラブ2)

質問 家庭教育への支援はどのように行っているか。(生徒の通学)



回答 各学校では、保護者が子育てや家庭教育について相談できるよう、保護者懇談や面談など具体的な体制整備に努めている。

質問 子供を守り育てるための道徳教育については。

回答 各学校では、道徳性の育成を目指して指導している。特に思いやり、正義感、連帯感、模範意識は共同生活を営む上で必要な道徳心と考えているが、家庭や地域社会との連携が不可欠であるため、情報交換や調査などにより道徳教育の充実に努めていきたい。

企業誘致

相沢 崇文(クラブ2)

質問 企業誘致のこれまでの経過はどうだったか。

回答 旧新里村は、平成十五年まで板橋上赤坂工業団地の用地取得を行い、合併前の平成十六年に精算を行った。当初進出予定だった企業は断念したが、現在、同団地では金額ベースで総販売額の約八十七パーセントの売却ができ、残り区画の売却により、約八十四万円の収益が見込まれる。

質問 今後の取り組みは。



回答 新里町の武井工業団地周辺西地区工業適地について、早期に事業化できるように、県企業局に協議をお願いしている。(板橋上赤坂工業団地)

おりひめバス

笹井 重俊(日本共産党)

質問 新型ノンステップバスについて市民の反応は。(ノンステップバス)



回答 市民から乗り降りが楽になったなど、好意的な意見を聞いている。

質問 バス運行事業検討委員会で、今後路線の見直しなど検討するとき、同委員会に公募の市民を参加させる予定はあるか。

回答 同委員会の委員は、利用者の代弁者として様々な意見の集約を目的に各区长や各種団体の代表など十七人で構成されているが、公募の市民を加えることについて検討していきたい。今後、効率的で利便性の高い運行体系など研究したい。

地デジ難視聴対策

園田 恵三(桐新クラブ)

質問 川内町一・二丁目には、テレビの映りの悪い地区があったが、地デジ移行で難視聴は解消されるか。

回答 一丁目については、現在国や県などに共聴施設設置の補助金手続き中であり、交付決定後工事を行う。二丁目については、新たな共聴組合の設置が必要であることから、早急に地元説明会を開催する予定である。

質問 難視聴が解消されなかった場合の対策は。



(共聴アンテナ)

回答 移行期間に間に合わない場合は、暫定的に国が衛星放送対策を行い、必要な設備は国の負担で行う予定と聞いている。

動物園内の鳥飼育舎

田島 忠一(新改舎)

質問 桐生が岡動物園内の鳥飼育舎は二か所に分かれているが、理由は何か。

回答 鳥飼育舎が二か所ある理由について記録は残っていないが、閉園後も展示可能なものは見せたいということの中で現在の配置になったと聞いている。

質問 女神像広場南側の鳥飼育舎は、他の動物育舎と離れているが、案内はどうなっているのか。

回答 同鳥飼育舎は、パ



(動物園鳥飼育舎)

不法投棄

中田 米蔵(日本共産党)

質問 菱町二丁目桐陽台団地付近山林の土砂埋め立

(桐陽台の市道)



て問題はどうか。問題はどうなっているか。

回答 この問題は、平成十七年ころから同山林に土砂の埋め立てが行われ、二十一年秋から大型ダンプによる土砂搬入が増え、住民からの苦情が増加した。このため、二十二年十月二十日、行為者に対して市道の通行禁止を警告し、十一月四日、土砂の搬入及び投棄の禁止の措置命令を送付し、幅約一・六メートル以上の車両通行を制限する柵と監視カメラを設置した。現在、搬入は確認されていないが、今後も粘り強く対応したい。

最終処分場

佐藤 幸雄（新政会）

質問 「新里地区産業廃棄物安定型モデル最終処分場」の跡地利用を協議するため、跡地利用策定委員会が平成二十一年十月十五日に設置された。県としての跡地利用の方針は、地元利用に関して無償貸与すると聞いているが、県および市は、跡地利用についてどのように考えているのか。

答弁 県から、現時点では白紙の状態であるが、跡地利用策定委員会の今後の

（最終処分場）



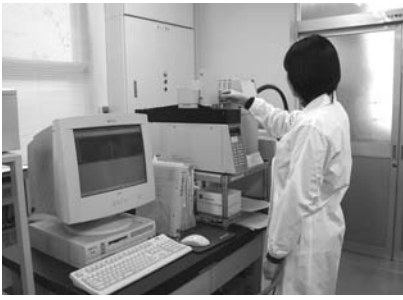
協議を踏まえ、地域住民の意見を最大限尊重し、有意義な活用ができるよう検討していくと伺っており、市としても同様に考えている。

大問々カントリー倶楽部

星野 定利（無党派）

質問 大問々カントリー倶楽部は、当初無農薬をう

（水質センター）



たっていたが、「農薬使用履歴書」が市に提出され、市は、国の指針より十倍厳しい基準を課す内容で試験的に三年間の使用を許可した。桐生市は渡良瀬川の表流水を水道水源に使用しており、農薬使用はイメージを悪くするため、三年後には無農薬に戻す考えはあるか。

答弁 農薬使用期限である平成二十四年度末以降の農薬使用については、三年間の農薬使用実績や管理状況を評価するとともに、議会の意見を聞いた上で同倶楽部と協議したい。

食育の基本「楽しく食べる」

石井 秀子（新政会）

質問 いじめの場として取り上げられた、給食時間

（共同調理場）



の状況と考え方は。

答弁 各小・中学校で実施した調査では、八十九・

二パーセントの学級が日常の生活班で給食を食べている。子供一人一人が明るく楽しい学校生活を送れるよう、給食主任会で情報交換をするなど、給食指導の充実を図っていきたい。

質問 新学習指導要領の総則に示されている食育推進、その核となる栄養教諭の増員の考えは。

答弁 県教育委員会では増員の方向にあり、市としても要求していきたい。

道の駅

瀬谷 幸雄（新政会）

質問 市場敷地内に「道の駅」を設置する考えは。

答弁 市場民営化協議の

段階から市場協力会や管理運営会社から構想が示され、市の民営化検討委員会でもその方向性に賛意を示してきた。その後、管理運営会社では、今年の六月に道の駅併設構想・計画調査業務をコンサルタント業者に委託し、計画の実現に向けて動きだしたと聞いている。

市としても、管理運営会社

（市場）



の意向を十分に踏まえ「道の駅」に限定することなく地域活性化につながる施設ができるよう積極的に支援していきたいと考えている。

予算編成過程の公開

寺口 正宣（公明クラブ）

質問 進ちよくにあわせて公開する考えはあるか。

答弁 予算編成では、各

担当部局が市民の皆様の意見や桐生市が当面する課題を捉え計画した事業に対して、その事業の緊急性、費用対効果および全体的なバランスを調整し、国や県の政策との整合を図り、各種交付金などの活用を考慮して事業採択を行っている。公開する意義は十分に認識しているが、財源計画に伴

わず成案に至らない内容を公開することは、市民や利害関係者に誤解を招く恐れがあり、現状での公開は難しいと考えている。

（市役所）



お知らせ

◆次回定例会の開催予定は

2月23日(水)です。

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部（要旨）を掲載しています。詳しくは、図書館で会議録をご覧ください。

平成22年第4回定例会の会議録は、3月上旬からご覧になれます。なお、会議録は桐生市ホームページからでもご覧いただけます。